



大学図書館員のための IT総合研修 easy編

システムベンダーとの信頼しあえる
コミュニケーションのために

趣旨説明

本日のタイムテーブル

- 趣旨説明(5分)
- ファシリテーターとシステムベンダーのディスカッション(50分)
 - ファシリテーター:林 賢紀 氏(国際農林水産業研究センター)
 - システムベンダー:
 - 梶 英稔 氏(株式会社アットウェア)
 - 小西 健文 氏(株式会社アットウェア)
 - 小林 大悟 氏(株式会社創夢)
 - ※1社1名匿名
- ファシリテーターによるクロージング(5分)
- 質疑応答は行いません。

IT人材育成を取り巻く背景(1)

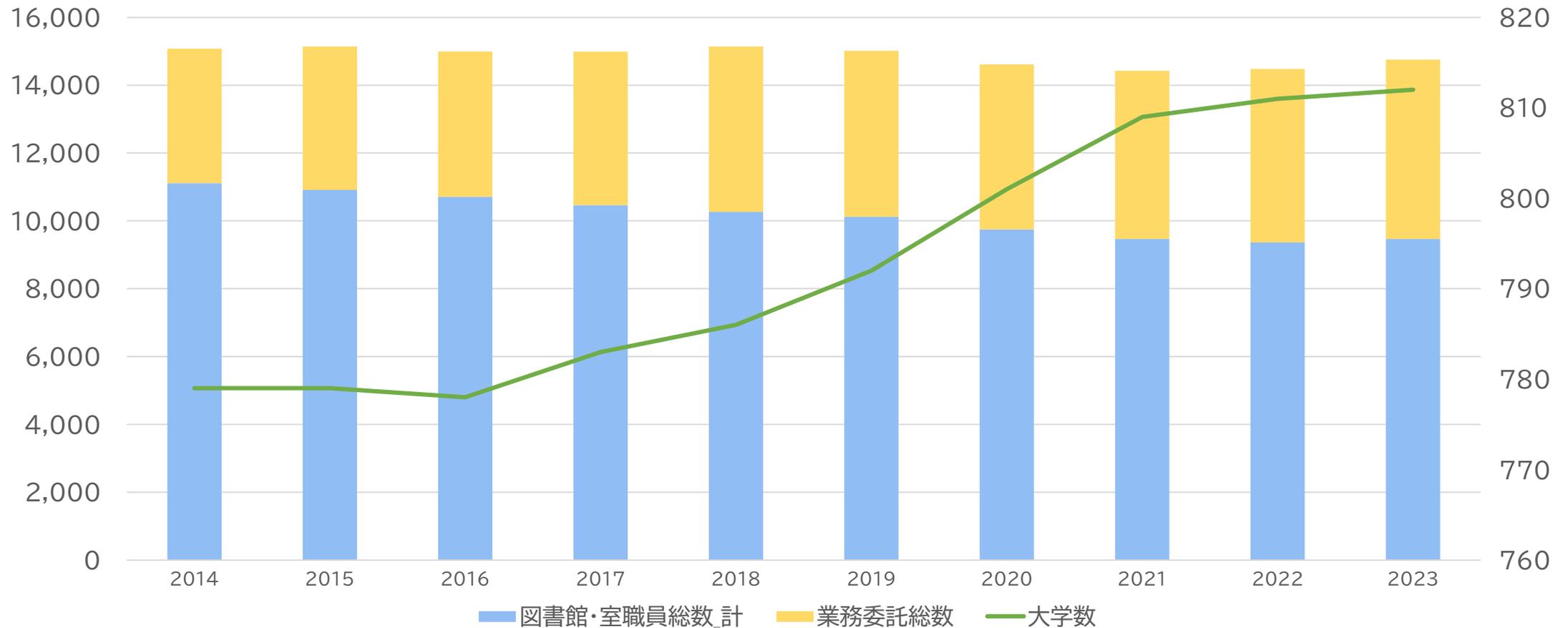
イメージ

- 人は減っている。
- ITシステム関係の仕事は増えている(IT以外の仕事も増えている)。
- IT人材育成が必要！

- 本当に？
- どうやって？

IT人材育成を取り巻く背景(2)

大学図書館員数・大学数の推移



IT人材育成を取り巻く背景(3)

大学図書館の業務内容の増加

- 従来の業務
 - 閲覧・レファレンス・情報リテラシー・ILL
 - 受入・目録
 - 図書館システム管理
- 新たに増えてきたもの
 - 機関リポジトリ
 - 研究支援
 - アクティブ・ラーニング
 - リンクリゾルバ・ディスカバリーサービス
 - 等々

IT人材育成を取り巻く背景(4)

システムベンダーとのコミュニケーション

苦手？

- 現在の図書館業務・サービスにおいてはITシステムの利用が必要不可欠になっています。
- ITシステムの開発・要望・障害が発生した際、図書館員は、学内の情報システム部門やシステムベンダーと協力して取り組むことになりますが、そこではコミュニケーションの問題が多々発生するでしょう。
- 障害報告行う際に、どのような情報を伝えれば良いのか悩むことはありませんか。悩んだ末に連絡しても「この情報が足りない」と何度も言われたこともあるでしょう。

IT総合研修本編について(1)

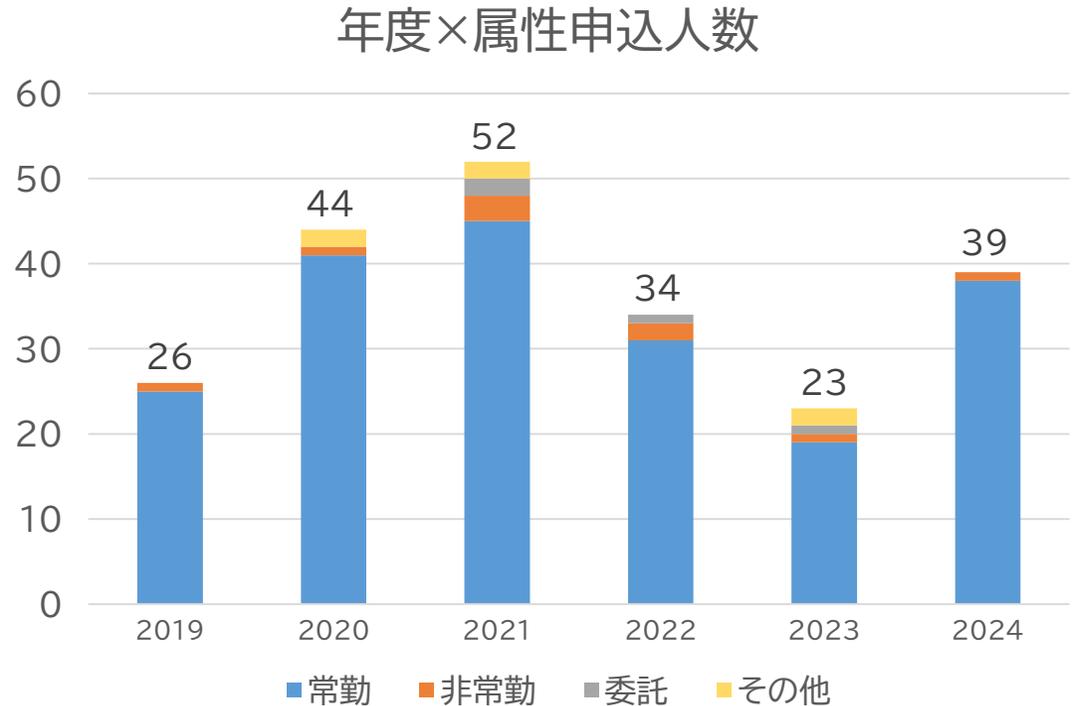
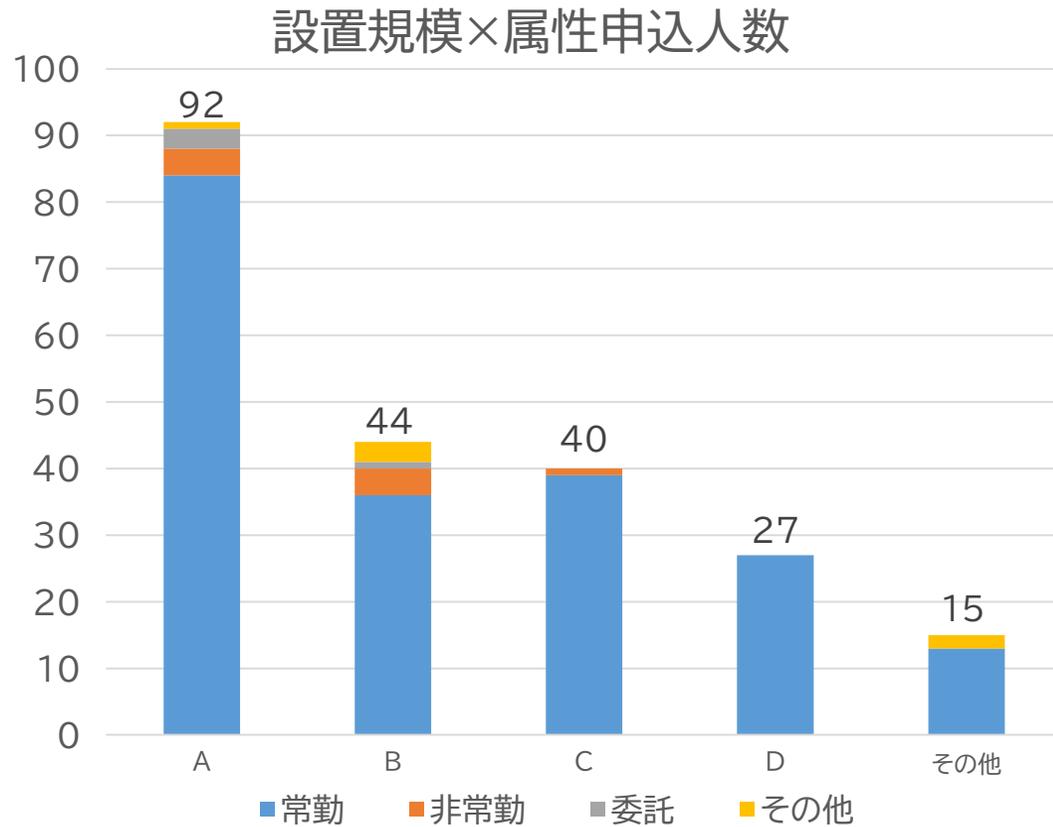
概要と裏テーマ

IT人材の
育成!

- NII教育研修事業の「大学図書館員のためのIT総合研修」
 - <https://contents.nii.ac.jp/hrd/it>
- 定員20名・3日間
- SQL、WebAPI/データクレンジング、Webサイト作成等の技術(の入り口)を学び、それを図書館の業務改善等に活かすことについてグループディスカッションを行っている。
- 裏テーマとして、「システムベンダーさんと共通言語で話ができるようになる」がある。
- 難しそう、敷居が高い、そんなに時間がない、という人もいるはず。

IT総合研修本編について(2)

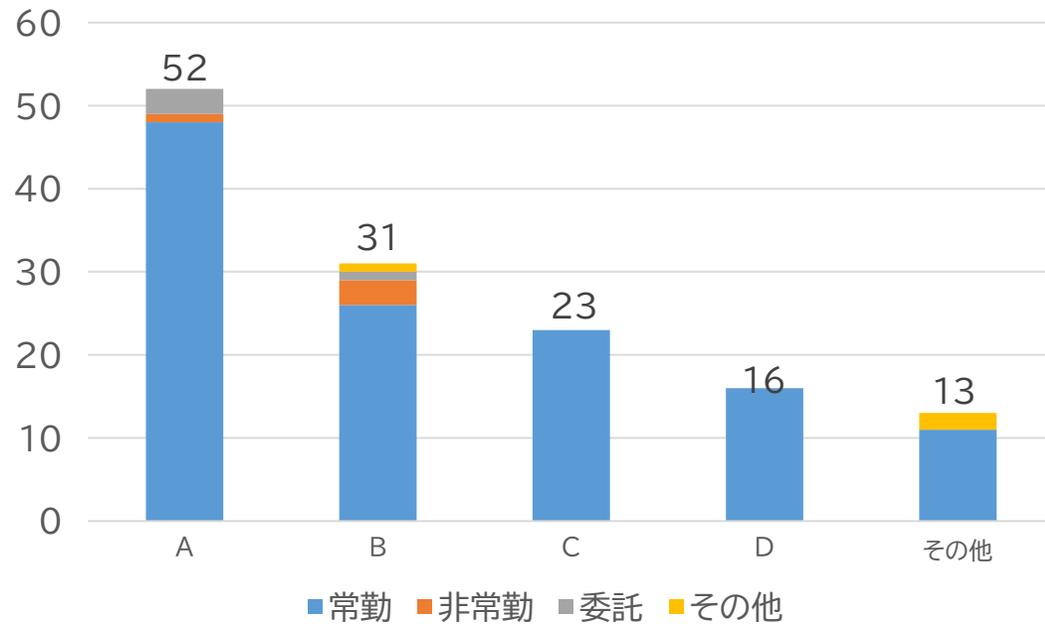
申込状況(設置規模・属性)



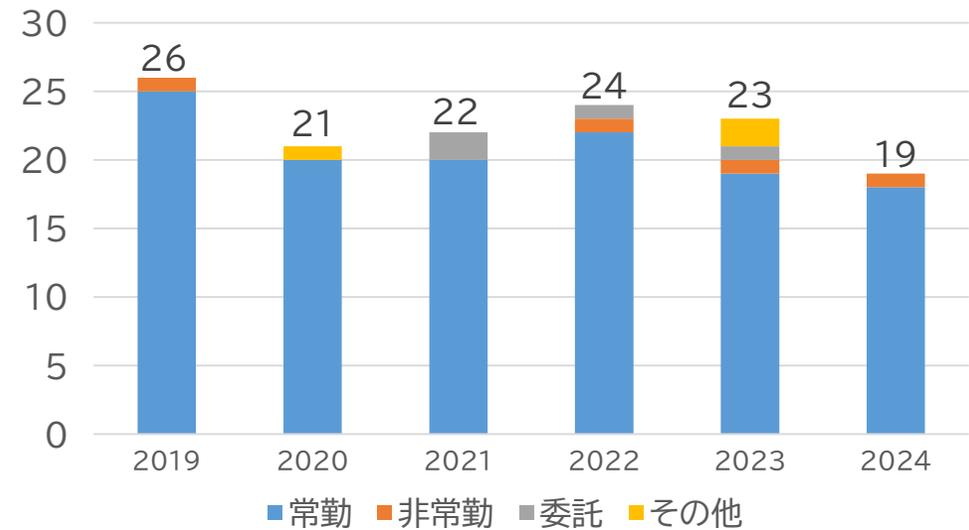
IT総合研修本編について(3) 修了状況(設置規模・属性)

結局
大規模組織の
常勤対象？

規模×属性修了人数



年度×属性修了人数



IT人材育成の対象は大規模機関だけ？
いいえ！

だから！ easy編